

## 土壌医検定を取得して

栃木県立小山北桜高等学校 食料環境科 3年 星野 一

私は、小山北桜高校の食料環境科に所属し、造園や草花の生産について学んでいます。「農業と環境」の授業では、ハクサイやブロッコリー、ダイコン、「草花」ではマリーゴールドやパンジー、シクラメン、「生物活用」ではスイカやピーマン、ナスを栽培しました。日々、植物の成長を観察し、害虫や病気による影響がないか、注意し実習を行っています。特に、「草花」の授業は、花の美しさに注意して行わなければいけません。そのため、土台となる土が良くないと上手く育たず、見栄えが悪くなります。土の成分を間違えてしまうと、生育に影響が出てしまいます。土だけで草花の生産に大きな影響を与えてしまうのだと驚きました。

このような経験から土を深く理解することはとても大切なことだと思い、土壌医検定3級取得を目指しました。検定勉強をしていくと、土以外にも、肥料や病害、生育障害など範囲が広く、覚えるのが大変でした。しかし、施肥量や追肥の時期、種類など、実習でも活用できると思いました。テキストで勉強したことが検定だけでなく、実習にも活用することができ、役に立つ場面が多かったです。また、検定前は実習中に土について考える時間は余りありませんでした。しかし、土壌医検定の勉強後は土について多くの視点で考えることができ、実習の内容をより深く考え、行うことができました。

農業に土はとても大切で、欠かせない存在です。土を知ることにより、作物の品質向上に繋がっていきます。土壌医検定を取得し、土の事を深く知ることができました。検定に合格したことで、実習の中でもより専門的に取り組むことができ、取得して良かったと思えました。

私は将来、環境系の職業に就きたいと考えています。今回取得した検定も将来に活かしていきたいと思っています。

